

# 第11回 福井市公共工事等技術研究発表会

## 県民衛星「すいせん」を活用した迅速な災害対応を！

事業課名

農林水産部 農村整備・林業水産課

### 1. 概要

事業名称

山地及び農地災害確認支援システム業務

事業場所・区域

福井市全域

### 2. 事業内容

山地及び農地に於ける災害対応の負担軽減と高速化

#### 課題

近年の気候変動に伴い短時間強雨の発生回数や長期にわたる局地的な大雨の発生が増加している。里地（山地及び農地）に於いては地域住民や職員の安全を確保しながら迅速かつ適切に被災状況を把握し、早期に対策を実施していく必要がある。

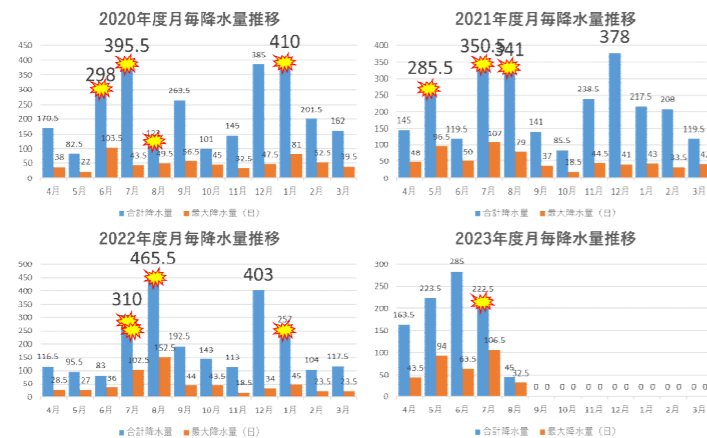
#### 対応策

県民衛星「すいせん」等の衛星データを現地の概況把握に活用することで優先度決定の精度向上と対応のスピードアップを図る。

現地確認や報告書作成等の行政業務の処理をシステム化し、入力の手間を削減する。また、現地で被災状況（写真、位置、延長等）を入力すれば報告書が出力出来るような一気通貫の仕組みを整備し、情報共有による職員の負担軽減を図る。

#### ●福井市に於ける災害発生状況

※福井市の過去の気象データ（気象庁）を元に作成



### 3. 取組みのポイント

#### ・災害発生状況把握の効率化！

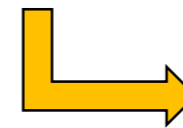
衛星画像の比較による被害状況把握  
大規模な被害の調査漏れ防止

#### ・現場対応のスピード化！

位置情報と撮影した写真の即時共有

#### ・職員の負担軽減！

適切な調査ルートを選定  
災害報告書、位置図等の資料作成を  
システム化



頻発する災害対応業務において  
DXを取り入れることで、より迅速  
かつ適切な対応が可能となる！

#### ソリューションのイメージ図



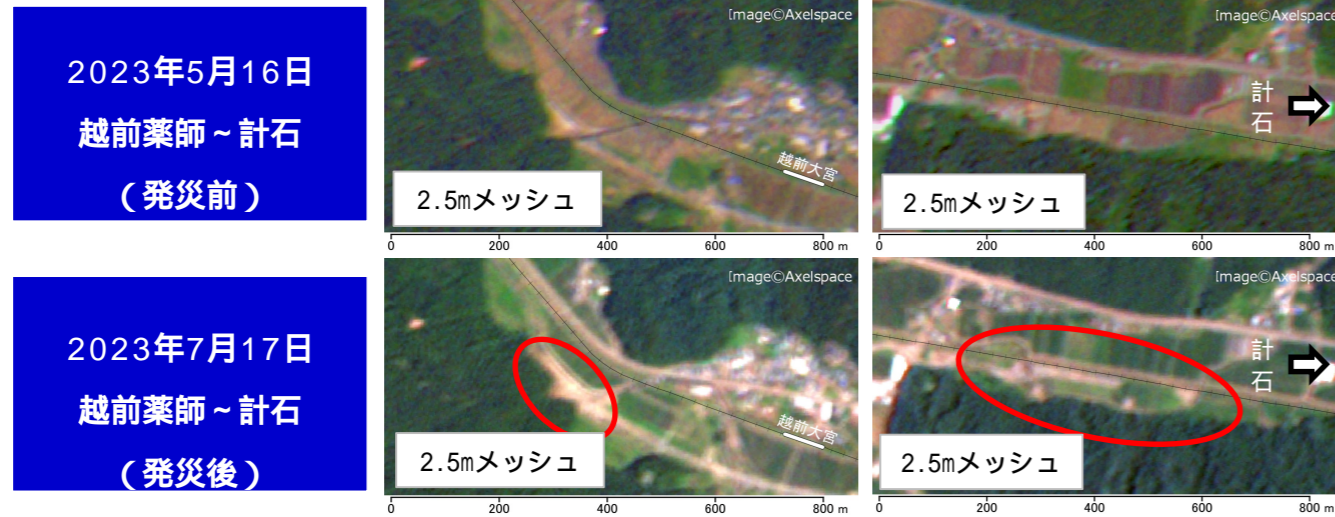
#### 4. 取組みの詳細

災害発生状況把握の効率化、職員の負担軽減

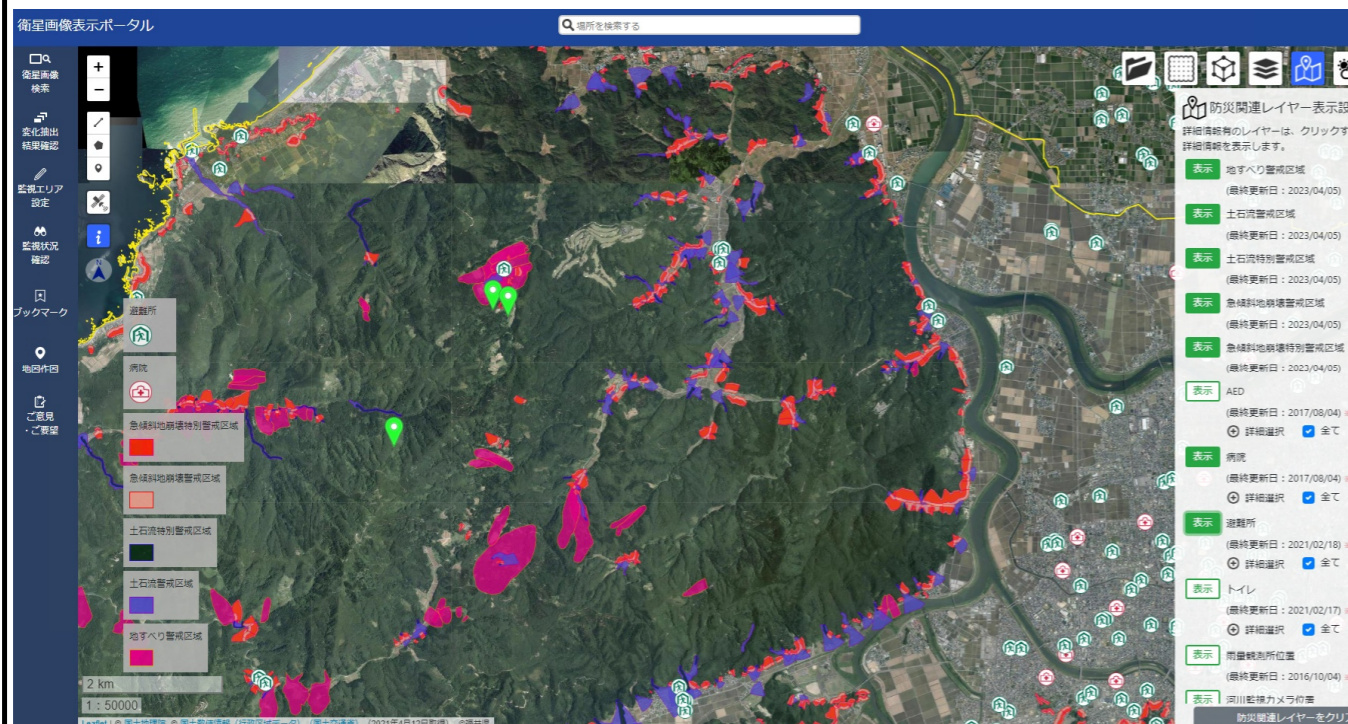
##### ○県民衛星「すいせん」の活用

- ・被災前後の衛星画像比較により、法面崩壊、冠水被害範囲 等の被災状況を把握
- ・現地確認が困難な箇所等における大規模被害の調査漏れの防止
- ・林業・農業行政データ（森林計画図、ため池 等）や防災関連情報 等 との重ね合わせが可能

県民衛星「すいせん」における R5.7月豪雨の被災現場の前後比較（一例）



県民衛星「すいせん」における 防災関連情報 等 データとの重ね合わせ（一例）

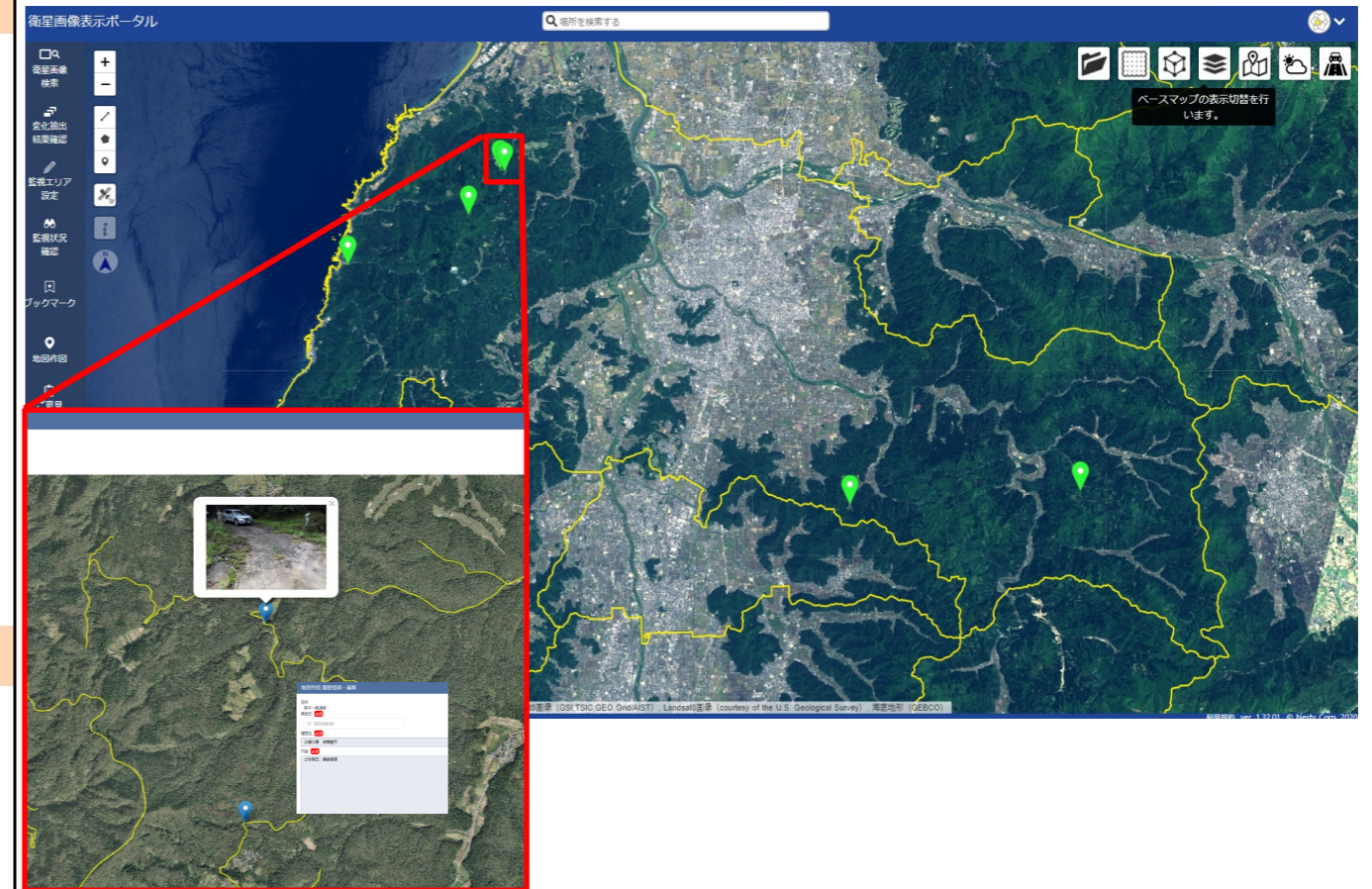


現場対応のスピード化

##### ○現地写真等の共有

- ・撮影した写真をシステムにアップロードするだけで、被災箇所を地図上にマッピング
- ・被災内容等を入力すれば、現場(現場班)と市役所(統括班)とのリアルタイムな情報共有が可能

システム上にアップロードした被災写真のマッピング（一例）



#### 5. まとめ

従来は、被災現場に足を運ばなければ状況把握ができなかった。また、現場から帰庁するまで被災状況が共有されず、帰庁してから被災状況を取りまとめており、迅速な対応が困難であった。



システムの導入によって...

県民衛星「すいせん」の活用により災害発生状況を机上で確認することで適切なルートを選定ができ、より安全に現地確認を行える。また、大規模な被害の調査漏れの防止につながる。

位置図・写真の整理、報告書作成 等の資料作成作業にかかる時間の短縮により、負担が軽減される。

被災現場(現場班)と市役所(統括班)との情報共有がリアルタイムで可能となり、迅速な方針決定の一助となる。